

発電所からのお知らせ

2017年5月30日

- 1, 2号機: 廃止措置中(第2段階)(2016年2月3日～)
「[浜岡原子力発電所 1, 2号機 廃止措置状況\(2016年度第3四半期\)](#)」をご覧ください。
 - 3号機: 施設定期検査中(2010年11月29日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
 - ・当社は、2016年8月25日に浜岡原子力発電所3号機の高経年化技術評価(注1)を踏まえた長期保守管理方針(注2)に係る原子炉施設保安規定の変更認可申請書を原子力規制委員会に提出し、審査を受けています。(2016年8月25日公表)
本日から明日にかけて、原子力規制庁による高経年化技術評価に係る文書確認や評価対象設備の現場確認が実施されます。当社は、引き続き、原子力規制庁による審査に真摯に対応してまいります。
 - 4号機: 施設定期検査中(2012年1月25日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
 - 5号機: 施設定期検査中(2012年3月22日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
 - その他
 - ・2017年5月29日、低レベル放射性廃棄物を輸送するための空のコンテナ72個を発電所に搬入しました。
- 注1 高経年化技術評価とは、安全機能を有する機器・構造物に発生しているか、または発生する可能性があるすべての経年劣化事象の中から、高経年化対策上着目すべき経年劣化事象を抽出し、これに対する機器・構造物の健全性について評価をおこなうとともに、現状の保守管理が有効かどうかを確認し、必要に応じ、追加すべき保全策を抽出することです。今回の3号機の高経年化技術評価は、「[実用発電用原子炉施設における高経年化対策実施ガイド](#)」に基づき、冷温停止状態が維持されることを前提としています。運転を前提とした評価については、適切な時期に実施します。
- 注2 長期保守管理方針とは、高経年化技術評価の結果に基づき、10年間に実施すべき当該発電用原子炉施設についての保守管理に関する方針のことです。

以上